

令和1年12月期（令和1年6月9日～令和1年12月8日）決算短信

令和2年1月14日
上場取引所 東証

ファンド名 MAXIS 海外株式（MSCIコクサイ）上場投信
 コード番号 1550
 連動対象指標 円換算したMSCIコクサイ・インデックス
 主要投資資産 株式
 売買単位 10口
 管理会社 三菱UFJ国際投信株式会社 URL <https://www.am.mufg.jp/>
 代表者名 取締役社長 松田 通
 問合せ先責任者 商品ディスクロージャー部 宇野 誠朗 TEL (03)6250-4910

有価証券報告書提出予定日 令和2年3月6日
 分配金支払開始予定日 令和2年1月16日

I ファンドの運用状況

1. 令和1年12月期の運用状況（令和1年6月9日～令和1年12月8日）

(1) 資産内訳 (百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和1年12月期	9,322	(100.5)	△46	(△0.5)	9,275	(100.0)
令和1年6月期	8,392	(100.8)	△64	(△0.8)	8,327	(100.0)

(2) 設定・解約実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
令和1年12月期	3,610	140	40	3,710
令和1年6月期	3,600	120	110	3,610

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	100口当たり基準価額 (③/当計算期間末発行済口数)×100
	百万円	百万円	百万円	円
令和1年12月期	9,349	73	9,275	250,024
令和1年6月期	8,419	91	8,327	230,686

(4) 分配金

	10口当たり分配金
	円
令和1年12月期	172
令和1年6月期	228

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

II 財務諸表等

(1) 【貸借対照表】

(単位:円)

	第 17 期 [令和 1 年 6 月 8 日現在]	第 18 期 [令和 1 年 12 月 8 日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	26,911,834	27,052,354
投資信託受益証券	8,392,256,123	9,322,188,016
流動資産合計	8,419,167,957	9,349,240,370
資産合計	8,419,167,957	9,349,240,370
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	82,308,000	63,812,000
未払受託者報酬	1,811,338	1,920,237
未払委託者報酬	4,981,120	5,280,597
未払利息	92	16
その他未払費用	2,296,700	2,355,536
流動負債合計	91,397,250	73,368,386
負債合計	91,397,250	73,368,386
純資産の部		
元本等		
元本	3,610,000,000	3,710,000,000
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金 (△)	4,717,770,707	5,565,871,984
(分配準備積立金)	149,604	357,887
元本等合計	8,327,770,707	9,275,871,984
純資産合計	8,327,770,707	9,275,871,984
負債純資産合計	8,419,167,957	9,349,240,370

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第 17 期 自 平成 30 年 12 月 9 日 至 令和 1 年 6 月 8 日	第 18 期 自 令和 1 年 6 月 9 日 至 令和 1 年 12 月 8 日
営業収益		
受取配当金	91,992,613	74,063,812
受取利息	6	78
有価証券売買等損益	231,473,107	711,019,094
営業収益合計	323,465,726	785,082,984
営業費用		
支払利息	7,868	8,925
受託者報酬	1,811,338	1,920,237
委託者報酬	4,981,120	5,280,597
その他費用	2,777,951	2,833,848
営業費用合計	9,578,277	10,043,607
営業利益又は営業損失 (△)	313,887,449	775,039,377
経常利益又は経常損失 (△)	313,887,449	775,039,377
当期純利益又は当期純損失 (△)	313,887,449	775,039,377
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額 (△)	-	-
期首剰余金又は期首欠損金 (△)	4,504,505,458	4,717,770,707
剰余金増加額又は欠損金減少額	140,670,000	198,253,900
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	140,670,000	198,253,900
剰余金減少額又は欠損金増加額	158,984,200	61,380,000
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	158,984,200	61,380,000
分配金	82,308,000	63,812,000
期末剰余金又は期末欠損金 (△)	4,717,770,707	5,565,871,984

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
--------------------	--

(貸借対照表に関する注記)

	第 17 期 [令和 1 年 6 月 8 日現在]	第 18 期 [令和 1 年 12 月 8 日現在]
1. 期首元本額	3,600,000,000 円	3,610,000,000 円
期中追加設定元本額	120,000,000 円	140,000,000 円
期中一部解約元本額	110,000,000 円	40,000,000 円
2. 受益権の総数	3,610,000 口	3,710,000 口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第 17 期 自 平成 30 年 12 月 9 日 至 令和 1 年 6 月 8 日	第 18 期 自 令和 1 年 6 月 9 日 至 令和 1 年 12 月 8 日																																																												
1. その他費用 上場費用および商標使用料等を含んでおります。 2. 分配金の計算過程	1. その他費用 上場費用および商標使用料等を含んでおります。 2. 分配金の計算過程																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当期配当等収益額</td> <td>A</td> <td>91,984,751 円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>B</td> <td>43,262 円</td> </tr> <tr> <td>配当等収益合計額</td> <td>C=A+B</td> <td>92,028,013 円</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td>D</td> <td>9,570,409 円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=C-D</td> <td>82,457,604 円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>F</td> <td>82,308,000 円</td> </tr> <tr> <td>次期繰越金(分配準備積立金)</td> <td>G=E-F</td> <td>149,604 円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>H</td> <td>3,610,000 口</td> </tr> <tr> <td>100 口当たり分配金額</td> <td>I=F/H*100</td> <td>2,280 円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			当期配当等収益額	A	91,984,751 円	分配準備積立金額	B	43,262 円	配当等収益合計額	C=A+B	92,028,013 円	経費	D	9,570,409 円	当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	82,457,604 円	収益分配金金額	F	82,308,000 円	次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	149,604 円	当ファンドの期末残存口数	H	3,610,000 口	100 口当たり分配金額	I=F/H*100	2,280 円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当期配当等収益額</td> <td>A</td> <td>74,054,965 円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>B</td> <td>149,604 円</td> </tr> <tr> <td>配当等収益合計額</td> <td>C=A+B</td> <td>74,204,569 円</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td>D</td> <td>10,034,682 円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=C-D</td> <td>64,169,887 円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>F</td> <td>63,812,000 円</td> </tr> <tr> <td>次期繰越金(分配準備積立金)</td> <td>G=E-F</td> <td>357,887 円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>H</td> <td>3,710,000 口</td> </tr> <tr> <td>100 口当たり分配金額</td> <td>I=F/H*100</td> <td>1,720 円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			当期配当等収益額	A	74,054,965 円	分配準備積立金額	B	149,604 円	配当等収益合計額	C=A+B	74,204,569 円	経費	D	10,034,682 円	当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	64,169,887 円	収益分配金金額	F	63,812,000 円	次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	357,887 円	当ファンドの期末残存口数	H	3,710,000 口	100 口当たり分配金額	I=F/H*100	1,720 円
項目																																																													
当期配当等収益額	A	91,984,751 円																																																											
分配準備積立金額	B	43,262 円																																																											
配当等収益合計額	C=A+B	92,028,013 円																																																											
経費	D	9,570,409 円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	82,457,604 円																																																											
収益分配金金額	F	82,308,000 円																																																											
次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	149,604 円																																																											
当ファンドの期末残存口数	H	3,610,000 口																																																											
100 口当たり分配金額	I=F/H*100	2,280 円																																																											
項目																																																													
当期配当等収益額	A	74,054,965 円																																																											
分配準備積立金額	B	149,604 円																																																											
配当等収益合計額	C=A+B	74,204,569 円																																																											
経費	D	10,034,682 円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	64,169,887 円																																																											
収益分配金金額	F	63,812,000 円																																																											
次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	357,887 円																																																											
当ファンドの期末残存口数	H	3,710,000 口																																																											
100 口当たり分配金額	I=F/H*100	1,720 円																																																											

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

区分	第 17 期 自 平成 30 年 12 月 9 日 至 令和 1 年 6 月 8 日	第 18 期 自 令和 1 年 6 月 9 日 至 令和 1 年 12 月 8 日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」(昭和 26 年法律第 198 号) 第 2 条第 4 項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。	同左

	また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。	
--	---	--

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	第 17 期 [令和 1 年 6 月 8 日現在]	第 18 期 [令和 1 年 12 月 8 日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありませぬ。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記) に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品 (コールローン等) は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によつた場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	第 17 期 [令和 1 年 6 月 8 日現在]	第 18 期 [令和 1 年 12 月 8 日現在]
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
投資信託受益証券	209, 108, 893	702, 340, 199
合計	209, 108, 893	702, 340, 199

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第 17 期 [令和 1 年 6 月 8 日現在]	第 18 期 [令和 1 年 12 月 8 日現在]
1 口当たり純資産額	2, 306. 86 円	2, 500. 24 円
(100 口当たり純資産額)	(230, 686 円)	(250, 024 円)

(重要な後発事象に関する注記)

<p style="text-align: center;">第17期 自 平成30年12月9日 至 令和1年6月8日</p>	<p style="text-align: center;">第18期 自 令和1年6月9日 至 令和1年12月8日</p>
—	<p>当ファンドは、以下の通り投資形態の変更を行うことを令和1年11月22日付けで社内規定に基づき決裁しました。</p> <p>1 変更の内容 当ファンドは、令和1年12月9日付けで「MSCI コクサイインデックスファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)」および「マネープールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)」に投資するファンド・オブ・ファンズ方式から、親投資信託「外国株式インデックスマザーファンド」に投資するファミリーファンド方式へ投資形態の変更を行いました。</p> <p>2 損益に及ぼす重要な影響 ファミリーファンド方式への変更後も、実質的な投資対象 (日本を除く世界各国の株式等) や運用方針 (対象指数への連動をめざす) に変更はなく、損益に重要な影響を及ぼすものではありません。</p>